

新しい心のケアのカタチ！「心の整理」と「絵本づくり」を組み合わせた
「ナラティブ絵本」5/16までクラウドファンディングに挑戦中！
終活やライフステージの節目に「自分史絵本」で心の整理を！



ナラティブ絵本（見本）

ナラティブひろば
代表 小笠原映子

群馬県高崎市で令和4年からメンタルケアを行っておりますナラティブひろば 代表 小笠原映子（おがさわらえいこ）と申します。カウンセリングでお伺いした内容をもとにオリジナル絵本を制作しています。ひとりひとりの「想い」を「絵本」にしなが、**「前向きに生きる力」「表現する喜び」**をゆっくり支える『ナラティブ絵本』の制作サービスを提供しております。

この度、**新しい心のケアのカタチ**としてリリースした『ナラティブ絵本』を多くの方に知って頂きたく、クラウドファンディングに挑戦しています。

ナラティブとは、「物語」という意味。その人が語る物語を聞き、その人らしい解決方法を一緒に見つける心理的支援を「ナラティブ・アプローチ」といいます。「ナラティブ絵本」は、「ナラティブ・アプローチ」と「絵本づくり」を組み合わせた新しいケア・サービスです。

サービスの特徴：「物語を考える」プロセスが「自分の人生を肯定する」ことにつながり、「絵本づくり」という創作活動は「表現する喜び」に。完成した絵本を見るたびに「前向きな感情」を思い出せるという特徴があります。

サービス開発の背景：カウンセリングによりお客様の気分は安定しますが、「考え方の癖」により再び不安定になることも。そこで、これまでの人生を物語にした絵本を制作にしたところ「過去の体験に新たな意味」を見出すことにつながり、お客様の行動が前向きに変化しました。

対象者：終活中の方は、生きた証を絵本に残す「自分史絵本」として、また**ライフステージの節目**を迎えた方は、**自分軸の確認**としてご利用いただけたと思います。このサービスを通じて、正解のない時代を生きるために必要なメンタルヘルスをサポートしたいと思います。

つきましては、是非、貴番組・貴紙にて取材の程、よろしくお願いいたします。

《お問合せ先》

企業名：ナラティブひろば

担当者名：小笠原 映子

電話：090-6500-8946

E-mail: careinfo20156@gmail.com

HP：https://narrativeplace.jimdofree.com/

住所：〒370-0071 群馬県高崎市小八木町312-15 ビジネスパーク小八木2F



←クラウド
ファンディング